

H28. 4. 20（水）中部地方整備局の保有船「清龍丸」で大分港に支援物資を輸送し、リエゾンからの情報を基に、熊本県南阿蘇村、高森町などの被災地に届けました。



▲大分港へ到着し「清龍丸」から水や食料を荷下ろし



▲大分港から支援物資を乗せ被災地へ出発



▲南阿蘇村久木野中学校へ支援物資を搬入



▲水や食料などの支援物資を被災者に提供

・ H28. 4. 21（木）沖縄総合事務局のTEC-FORCEが九州に到着し全国のTEC-FORCEが一堂に集結。これはTEC-FORCE創設以来はじめてのことです。国土交通省は総力をあげて被災地の支援を行います。（4/21時点 総勢380名）



▲小平田局長からTEC-FORCEへの激励



▲ 沖縄総合事務局TEC-FORCEからの決意表明



▲ 小平企画部長からTEC-FORCEに被災状況と支援活動を説明



▲ 沖縄総合事務局のTEC-FORCEが今後の作業方針について確認

- ・ H28. 4. 21（木）支援物資をのせ18日に新潟港を出航した北陸地方整備局の保有船「白山（はくさん）」が博多港に入港。リエゾンからの情報を基に、熊本県御船町などの被災地に支援物資を提供。



▲新潟港から博多港に向け出港する「白山」



▲「白山」が博多港に接岸



▲支援物資をトラックに積み替え



▲支援物資を御船町の皆さんに提供

- ・ H28. 4. 22（金） 土砂崩落で一部区間が通行止めとなっていた「グリーンロード南阿蘇」において、TEC-FORCEが進めていた復旧作業が完了。大型車両の利用が可能な東西経路が確保され、復旧支援の経路として期待。



▲土砂崩落による通行止め



▲TEC-FORCEが被災状況を調査・構造物を点検



▲バックホウにより崩落土砂を撤去



▲緊急車両などが復旧支援経路として通行

・ H28. 4. 23 (土) 安倍総理大臣が南阿蘇村の被災地を視察され、現地で活動するTEC-FORCEを激励されました。TEC-FORCEは地域の1日も早い復旧に向け、これからも全力で任務にあたります。



▲南阿蘇村で活動するTEC-FORCEを安倍総理が激励



▲激励を受けて決意を新たにするTEC-FORCE隊長



▲益城町の被災地を視察



▲国交省職員や自衛隊などに激励する安倍総理

- ・ H28. 4. 23（土） 家田仁政策研究大学院大学教授を班長とする土木学会調査班（5名）が被災した益城町役場周辺の現地調査を行い、今後の対策に向けた技術的助言をいただきました。また土砂崩落箇所（阿蘇大橋地区）の現地調査も行いました。TEG-FORCEと専門家による技術支援はこれからも全力で進めていきます。



▲九州地整局長・各部長から被災地の状況を説明



▲被災した建物の構造を調査（益城町）



▲土砂崩落箇所の地層などを確認（阿蘇大橋地区）



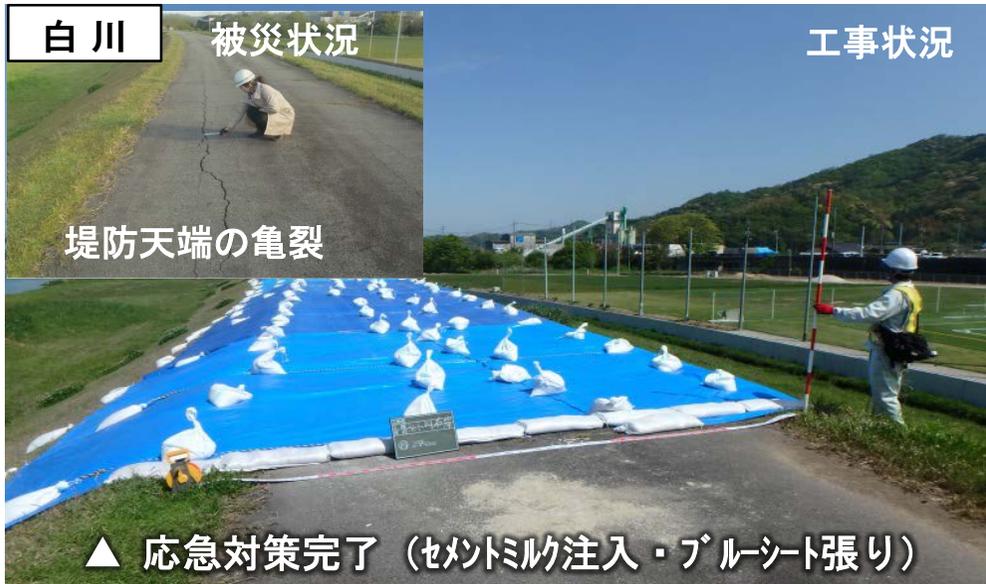
○ 平成28年4月15日(金)～ 熊本地震により被災した白川や緑川の被災状況を調査するため、ただちにTEC-DOCTORを派遣。地震翌日から順次、緊急復旧工事を実施



▲ 専門家 (TEC-DOCTOR・国総研・土研)による調査



▲ 専門家による調査結果の報告



▲ 応急対策完了 (セメントミルク注入・ブルーシート張り)



▲ 4.23(土)に緊急復旧工事が完了

- 平成28年4月22日（金）土砂崩落により通行止めの「県道北外輪山大津線：二重峠交差点～菊池阿蘇スカイライン（ミルクロード）」において、TEC-FORCEによる復旧に向けた技術的指導や工事監督支援等により迅速に復旧作業が完了し、熊本方面から阿蘇・大分方面の大型車通行可能な東西軸を確保



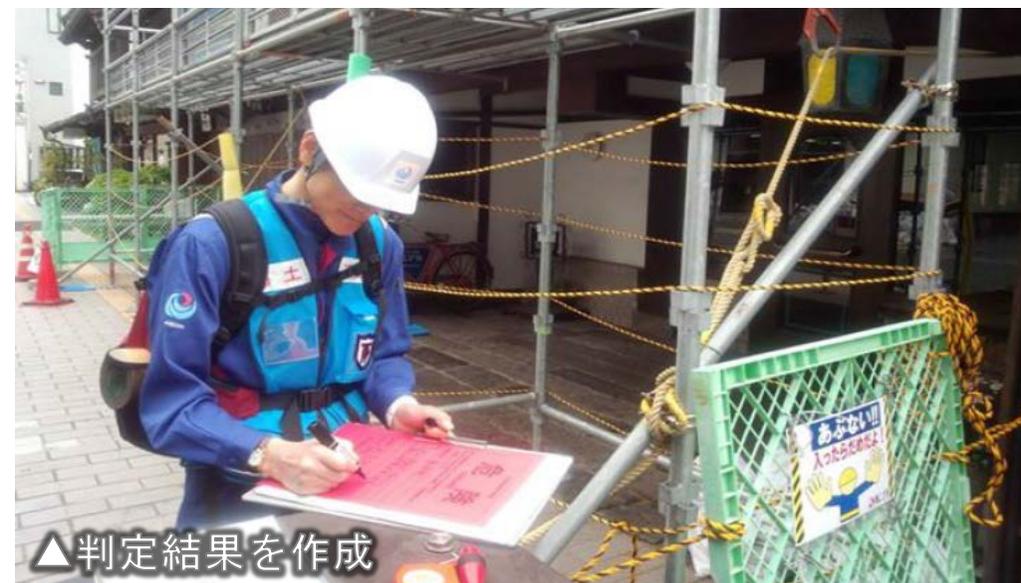
○ 平成28年4月23日（土）TEC-FORCEが熊本市内の被災建築物の応急危険度判定を地方公共団体や民間の判定士とともに調査を実施



▲建物の傾きを調査



▲外壁の被災状況を確認



▲判定結果を作成



▲判定結果を建築物に掲示

OH28. 4. 24（日）家田仁政策研究大学院大学教授を班長とする土木学会調査班（5名）が被災した熊本港（熊本市）の現地調査を行い、今後の対策に向けた技術的助言を頂きました。



熊本地方の地震に関する九州地方整備局の活動状況（26）

○ 平成28年4月29日（土）石井国土交通大臣は、熊本地震で被災した阿蘇大橋地区（南阿蘇村）の土砂崩壊現場や熊本城の被災状況などを視察され、各市町村で活動するリエゾンを激励



▲ 阿蘇大橋地区の土砂崩壊現場を視察



▲ 熊本城の被災状況を視察



▲ 熊本港での給水支援活動を視察



▲ 益城町長をサポートするリエゾンを激励

熊本地方の地震に関する九州地方整備局の活動状況（27）

○ 平成28年4月30日（日）石井国土交通大臣は、海上保安庁の航空機による被災地の上空視察や西原村の応急仮設住宅建設候補地を視察され、熊本県などの被災自治体との意見交換や各市町村で活動するTEC-FORCEを激励



▲ 海上保安庁の航空機に乗り込む石井大臣



▲ 西原村の応急仮設住宅建設候補地を視察



▲ 蒲島熊本県知事と意見交換をする石井大臣



▲ 南阿蘇村で活動するTEC-FORCEを激励する石井大臣

○ (主) 熊本高森線では、橋梁に段差が生じたりトンネル内のコンクリートが崩落したり深刻な被害が発生
TEC-FORCEでは4月18日(月)から被災状況調査に着手し、早期復旧に向けた支援を実施



▲ 陥没した道路 (俵山大橋 橋台背面)



▲ 段差が生じた桑鶴大橋 (斜張橋)



▲ コンクリートが崩落した俵山トンネル



▲ 日置 西原村村長に被災状況を報告

○熊本港においては臨港道路等の一部に段差の発生やフェリーターミナルの可動橋等に不具合が、又、百貫港海岸(熊本県)においては護岸及び背面部に横ズレ・沈下等が発生
TEC-FORCEでは4月16日(土)~26日(火)にかけて被災状況調査に着手し、早期復旧に向けた支援を実施



▲ 可動橋の損傷状況を調査



▲ 段差状況

▲ 段差解消に向けた臨港道路の仮復旧を支援



▲ 護岸の横ズレ状況を調査(近津地区)



▲ 護岸背面の水叩き部の沈下状況を調査(小島地区)

熊本地方の地震に関する九州地方整備局の活動状況（30）

○平成28年5月4日（水）山本副大臣・宮内政務官・江島政務官が、熊本地震で被災した阿蘇大橋地区や益城町、熊本城等を視察されたほか、緑川で復旧工事に携わるTEC-FORCEや協力業者等を激励



▲ 阿蘇大橋地区（南阿蘇村）の被災状況を視察



▲ 益城町の住宅損壊状況を視察



▲ 緑川で復旧工事に携わるTEC-FORCEや協力業者等を激励



▲ 熊本城の被災状況を視察